

11月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/11/03 (月)	東京休場のアジア市場はアジアの株式市場が強含みに推移したことを受けてドル中心に円売り優勢。欧米はインフレで激しい値動き、米経済指標の悪化がドル売りとなったものの、調整的な買い戻しも。	・東京市場が休場 ・欧州委員会秋季見通し「先行き、複数のEU諸国がリセッション入り」 ・10月の米ISM製造業景気指数 38.9、9月の米建設支出 0.3%	・独財務相「欧州委の見通しに賛同」 ・ユーログループ議長「欧州は技術的なりセッションに直面している」	98.54 99.65 98.30 99.14	125.84 128.46 124.75 125.33	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/04 (火)	東京は米系Fの損失計上報道から円買い優勢。ただ日経平均が500円以上上昇したことで下げ渋り。欧米は主要な欧米株価が強含みとなったことで円売り優勢。米新大統領誕生への期待感も後押し。	・GSの旗艦ファンドが10億ドル損失被るとの一部報道あり ・RBAが政策金利を0.75%下げ、声明「通貨下落と財政刺激が国内経済を支える」 ・9月の米製造業受注 2.5%	・ダラス連銀総裁「中銀の政策には限界がある」 ・仏貿易相「今週のECB利下げを期待」 ・一部報道「米財務省は銀行・保険以外にも公的資本注入検討」	99.03 100.56 98.35 99.73	124.93 130.98 123.43 129.48	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/05 (水)	東京は豪財務相の発言を嫌気し豪ドル売り優勢。対円では2円以上下落。利下げ観測からユーロも弱い。欧米は米経済指標の悪化、とくに雇用と関係指数の大幅悪化が嫌気されドル売り優勢。ドルは安値引け。	・豪財務相が豪財政赤字と経済成長率の見通しを下方修正 ・次期米大統領選にオバマ氏決定 ・10月のADP全米雇用報告 15.7万人、同ISM非製造業指数44.4	・日銀総裁「日銀利下げは将来の金利変更余地を残すものではな ・シカゴECB理事「ユーロ圏の低迷は09年も続く」 ・麻生首相「短期的にはドルをある程度支えないとやっていけない」	99.80 99.87 97.88 97.95	129.57 130.13 126.07 126.89	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/06 (木)	東京は前日同様ECB利下げ観測からユーロが軟調。またポンドも利下げ観測が嫌気され弱含み推移。欧米はNYダウが大幅安をたどったことでドル売り優勢。英利下げ幅が予想よりも大きくポンドは安値引け。	・9月の景気先行指数89.2 ・BOEが1.5%の利下げ実施 ・ECBが0.5%の利下げ実施 ・SNBが0.5%の利下げ実施 ・第3四半期米単位労働コスト速報値 3.6%、同非農業部門生産性1.1%	・10月日銀会合議事録「景気の下振れリスクが高まっている」 ・BOE声明「インフレ見通し、大幅に下向きにシフトした」 ・ECB総裁「追加利下げの可能性も除外せず、データ次第」	98.23 98.69 97.49 97.75	126.83 127.05 123.90 124.32	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/07 (金)	東京は引き続き株価にらみの展開。株安・円高の展開で一時96円台へ。ただドルは逆行高。欧米は米雇用統計が予想よりも悪化した米株が200ドルあまりと上昇したことでドル/円は高値引け。	・韓国が0.25%の利下げ実施 ・10月の米失業率6.5%、同非農業部門雇用数 24.0万人、9月の米中古住宅販売 4.6%	・フィラド中銀総裁「ECBは12月に追加利下げの可能性」 ・アトランタ連銀総裁「第4四半期GDPは0.3%をさらに下回る見通し」 ・オバマ氏「自動車業界支援に取り組んでいる」	97.30 98.70 96.75 98.25	123.51 126.37 122.48 124.97	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/10 (月)	東京は中国の景気刺激策を受けて円は1円以上も弱含み。またWSJ紙の報道も円売りの一因に。欧米は株高でスタートするもマーケットの破綻やドイツ証券の発表を受けて一転株安へ。円買い優勢。	・中国が4兆元の景気策実施との報道あり(8日) ・9月の機械受注5.5% ・米家電2位が連邦破産法申請へ ・ドイツ証券がGMの目標株価をゼロに修正	・WSJ「米政府はAIG支援額を1230億ドルから1500億ドルに拡大」 ・FRB「米財務省、AIG発行の優先株400億ドル取得へ」 ・ECB総裁「幾つかの中銀には利下げ余地あり」	99.04 99.48 97.60 98.02	127.00 128.43 124.25 124.96	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/11 (火)	東京は概ね揉み合い。そうしたなかM&A絡みの動きからポンドが対円などで強含み推移。欧米は米連邦住宅金融局局長の発言から米株が下げ止まりの様相を見せたことで為替も円安気味。	・9月経常収支1兆4979億円 ・11月の独ZEW景況指数 53.5	・ベルギー中銀総裁「12月のスタフ予測は大幅に下方修正」 ・山口日銀副総裁「来年半ばごろまで停滞色強い状況が続く」 ・米連邦住宅金融局局長「ローン条件緩和計画を12/15から実施」	98.00 98.31 97.30 97.66	124.93 125.50 121.84 122.29	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/12 (水)	東京は北朝鮮に絡む報道から円は小安い。ただ株価が意外に底堅く、それもあり円売りは限定的。欧米はポンドやユーロが安値引け。対円などで大きく下落した。米株安もあり、結局円の独歩高に。	・北朝鮮が来月1日から韓国との軍事境界線を閉鎖と発表 ・10月の独失業率3.0%、同失業者増減3.65万人 ・露ルブル切り下げの噂	・S&P「南アの格付け見通しをネガティブに引き下げ」 ・英中銀総裁「必要なら再び利下げをする予定あり」 ・米財務長官「公的資金の有効な使い方、住宅ローン資産購入ではない」	97.28 98.08 94.48 95.03	121.73 123.86 118.10 118.84	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/13 (木)	東京はショートカバーからドルの買い戻しが先行。しかし日経平均が500円近い下げとなり結局行って来い。欧米はポンド大荒れ。次回理事会で英国が大幅利下げを実施するとの見方からポンド売りが進行した。	・10月の国内企業物価 1.6%、9月の鉱工業生産確報値1.1% ・第3四半期独GDP 0.5% ・9月の米貿易収支 565億ドル、対日 55.9億ドル、対中 277.7億ドル ・10月の米財政収支 2372億ドル	・セントスBOE委員「来年の弱い英経済指標が続く」 ・11月のECB月報「ユーロ圏経済の成長リスクの下向きリスクが実体化」 ・仏大統領「ドルは唯一の基軸通貨でならず、G20で表明」	94.82 98.30 94.82 97.70	118.13 125.99 118.13 124.78	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/14 (金)	東京はWSJの報道を受けて円買い優勢。ただ金融サミットにらみで商いそのものは全般的に開散。欧米は株価の動向をにらみつつリセッション入りや利下げが懸念されるユーロが安値引け。	・第3四半期ユーロ圏GDP 0.2% ・金融サミットにオバマ氏出席せず ・10月の米小売売上高 2.8%、同輸入物価指数 4.7%、9月の企業在庫 0.2%、11月のミシガン大消費者信頼感指数57.9	・WSJ「来年1月まで米自動車業界向け支援策決定が遅れる可能性」 ・シカゴECB理事「一段の利下げを行う可能性を否定しない」 ・ECB総裁「ユーロ圏の景気は低迷」	97.62 97.76 96.09 97.00	124.84 125.05 121.35 122.22	24H 寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで